

取扱説明書

機種名(総称名)

I-I3 ILU-7-LIZ970:-

≪ S T R E A M E R

AN28LGRS-W

AN40LGRP-W

ご愛用者アンケートにぜひご協力ください。

今後のよりよい商品開発のため WEB 上でアンケートを 実施しています。

ダイキンエアコンホームページ https://www.cs.daikinaircon.com/

上手に使って上手に節電

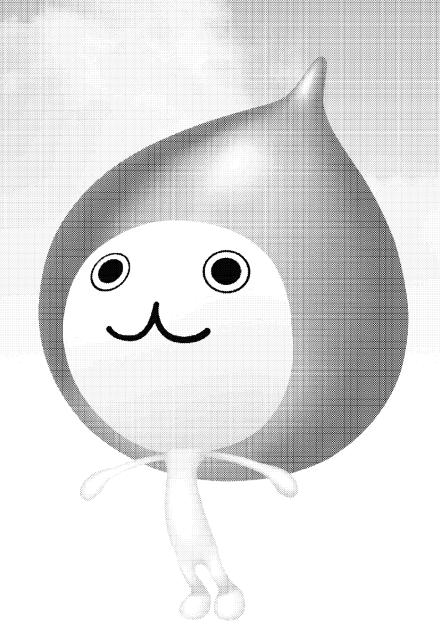
- ●このたびはダイキンルームエアコンをお買い上げいただき まことにありがとうございます。
- ●この取扱説判書をよくお読みのうえ。正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

▶4, 5≺–୬

お読みになった後はいつでもご覧になれるよう。お手元に 保管してください。

●保証書は必ずお買い上げ日、販売店名などの記入を確かめて 大切に保管してください。

「人」と「空気」の間に、



エアコンを使いこなして 一年中 快適に過ごそう



お部屋の湿度を 上げたい

うるる加湿運転四季

外気の水分を取り込んで、うるおいのある 清潔な空気をお届けします。



お肌にやさしい 環境にしたい

美肌運転 ☎毫數

湿度を高めに保って、 お肌にやさしい運転をします。 お肌が乾燥しやすい時期におすすめです。



気流を操作したい

風ないス四級シ

風量と風向を調節して 風が直接体にあたりにくくします。

ゆらぎ M8×=>)

自然のそよ風のような心地よい風にします。

パワフルロス

冷房・暖房能力をパワーアップして、 すばやく快適な室内温度にします。 冬の寒さの厳しい日や、夏のお風呂上りなどに おすすめです。

「CO エアコンに運転を おまかせしたい

おまかせ自動運転四季

室内温度、屋外温度に応じて自動的に運転モード、 設定温度、湿度を選びます。

Air お部屋の空気を きれいにしたい

空清・換気運転 ™

ストリーマ放電の分解力でウイルスやイヤな二オイを抑え、お部屋の空気をきれいにします。 また、屋外の新鮮な空気を取り入れることができます。

タイマー運転 を活用したい

切タイマー 四次

停止するまでの時間が設定できます。

時刻切タイマー・時刻入タイマー

設定した時刻に運転を停止し、 設定した時刻に運転を開始します。 **▶**23ページ



快眠運転 ▶26%=୬

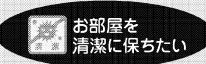
室内温度をコントロールして、 快い眠りとさわやかな目覚めを サポートします。



内部グリーン運転

▶29ペ->

エアコン内部を乾燥させてカビや ニオイの発生を抑えます。



カビショック運転

▶30<-≈

梅雨時など、お部屋の空気を 乾燥させてカビの発生を抑えます。

ご使用になる前に

■安全上のご注意・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
使ってみよう
■冷房・除湿冷房運転 12 ■さらら除湿運転 13 ■暖房・加湿暖房運転 14 ■うるる加湿運転 15 ■美肌運転 16 ■風向調節 17 ■風ないス・ゆらぎ・風量調節 18 ■おまかせ自動運転 19 ■空清・換気運転 20 ■ハウスキープ
● るすばん換気/ランドリー運転/ けつろ防止運転・・・・・・21 ■タイマー運転・・・・・24 ■知っトクナビ情報・・・・・24 ■快眠運転・・・・・26 ■パワフル運転・・・・・27 ■設定切換・・・・・27 ■設定切換・・・・・29 ■カビショック運転・・・・30 快適に使いつづけるために
■お手入れのしかた ●お手入れ早見表・・・・・31 ●おそうじサインリセット・・・・31 ●各部の取外し/取付け・・・・32 ●各部のお手入れ・・・・36 ●交換のしかた/ストリーマユニットの 分解と組立てのしかた・・・・37
■安全にお使いいただくために●点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
必要なときに
■ 故障かな?・・・・・・・・・・・・・・・ 39 ■ 虹色マルチモニターランプが点滅するとき ・・・・・ 42

本体表示について・・・・・・・・・・・・・・・・47



安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。 内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■「表示」を無視して、誤った取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。

「死亡や重傷を負うおそれがある 内容」を示しています。

「けがや財産に損害を受けるおそれ がある内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。



「してはいけないこと」を表しています。



「しなければならないこと」を表しています。



人人と皮雷 大けかを聞くためこ 表帯りください。

※電源プラグの有る機種の場合

電源プラグやコードは



■運転中にプラグを抜かない。※ (感電や放電による火災の原因)

- **■電源コードを持って抜かない。**※ (断線による、発熱や発火の原因)
- ■ぬれた手でプラグの抜き差しや操作はしない。※ (感雷の原因)
- ■途中で接続したり、延長コードの 使用、タコ足配線をしない。 (感電や発熱、火災の原因)
- ■破損させたり、加工したり、傷んだまま、 束ねたままでの使用はしない。 (感電や火災の原因)



■プラグは根元まで確実に差し込む。※ (接触不良による感電や火災の原因)

■定期的にプラグのホコリを 乾いた布でふき取る。※

(湿気などで絶縁不良となり、 発熱や発火、火災の原因)



異常・故障時には直ちに使用を中止する



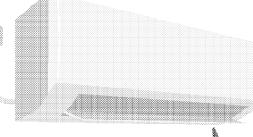
異常·故障例

- ●電源コード、プラグが異常に熱い。
- ●電源プラグが変色している。
- ●こげ臭いニオイがする。
- ●ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- ●室内ユニットから水がもれる。

(異常のまま運転を続けると故障や感電、 発煙、火災などの原因)

すぐに運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレー カーを切ってお買い上げの販売店またはダイキン お客様ご相談窓口にご相談ください。 ▶45ペーシ

電源プラグ



室内ユニットは



■動植物に直接風をあてない。 (動植物に悪影響を及ぼす原因)

■精密機器や食品、美術品の保存、 動植物の飼育や 栽培などに使わない。

(品質低下などの原因)



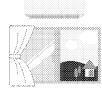
■ユニットの下に、他の電気製品や 家財などを置かない。

(水滴が落ちて、汚損や故障の原因)



■燃焼器具と一緒に 運転するときは、 こまめに換気する。

(酸素不足による頭痛など



■燃焼器具は、風が直接あたらない 場所で使用する。

(不完全燃焼の原因)

■乳幼児の手の届くところにリモコンを置かない。 (誤操作による体調悪化や電池誤飲の原因)

♠ 警告

ご使用時は



■吸込口や吹出口に指や棒などを入れない。 (けがの原因)

- ■長時間冷風を体に直接あてない、冷やし過ぎない。 おやすみのときなど、長時間、冷風を体に直接あ てたり、冷やし過ぎたりしない。(体調を崩す原因) 特にお子様や高齢者にはご注意ください。
- ■可燃性のもの(ヘアスプレーや殺虫剤など) は本体の近くで使用しない。

(感電や引火の原因)

■化粧品や金属などの微粉体を本体の近くで 使用しない。

(発火や感電、故障の原因)

据付け・移設・修理時は



■エアコンの据付け、修理や移動、再設置は、 自分でしない。

(感電や火災などの原因)

必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼 してください。

- ■必ずエアコン専用の電源コンセントを使う。 (他の機器と併用すると、発熱による火災の原因)
- ■アースや漏電しゃ断器が設置されていること。 (感電の原因)
- ■据付けや移動、修理は必ずお買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。 冷えない、暖まらない場合は、冷媒もれが原因の一つと考えられるので、お買い上げの販売店に相談する。

冷媒追加を伴う修理の場合は、冷媒もれがない ことをサービスマンに確認してください。 (冷媒は安全で、通常はもれませんが、万一室 内にもれ、ファンヒーターやコンロなどの火気 に触れると、有害な生成物発生の原因)

■可燃性ガスのもれるおそれのある場所に 設置されていないか確認する。

(万一ガスがもれると、発火の原因)

■ドレンホースが確実に排水するように 配管されているか確認する。

(不確実な場合、家財などをぬらす原因)

吸込口 (アルミ部分) ドレン ホース 漏電やけがを防ぎ、 家財などを守るために お守りください。



介 注意

お手入れ時は



■不安定な台に乗らない。(転倒など、けがの原因)

- ■ユニットのアルミ部分に触らない。 (手を切る原因)
- ■お客様自身で、工具を使った分解掃除や、 改造、内部の洗浄はしない。 (水もれや破損、故障、発煙、発火の原因)



■必ず運転を停止し、電源プラグを抜くか、 ブレーカーを切る。

(ファンが高速回転しているため、けがの原因)

室外ユニットは



■ユニットのアルミ部分に触らない。(手を切る原因)



- ■ユニットの近くに、 他の電気製品や家財などを置かない。 (暖房時はドレンホースから結露水が出て、 汚損や故障の原因)
- ■ユニットの上に乗ったり、 物を載せたりしない。 (ベランダなどの高い場所に 設置の場合、転落の原因)



■据付台が破損したまま、放置しない。 (落下につながり、けがなどの原因)



■ユニットの周辺に、物を置いたり、 落ち葉がたまらないようにする。

(虫などが侵入し、故障や発火、発煙の原因)

各部のなまえと働き

